

令和8年度 第6学年
理科 評価規準

江戸川区立西一之江小学校

月	単元名	時数	評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
4	1. ものの燃え方	9	燃焼の仕組みについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。	燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 燃焼の仕組みについて、観察、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
5	2. 植物の体のつくりとはたらき① 日光との関わり	5	植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 植物の葉に日光が当たるとデンプンができることを理解している。	植物の体のつくりと働きについて問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
6	3. 人やほかの動物の体のつくりとはたらき	12	体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解している。 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。	人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
6	4. 植物の体のつくりとはたらき② 水との関わり	5	根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	植物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと体内の水などの行方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
7	5. 生物と地球環境	9	生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 生物は、空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 生物と周囲の環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 生物は、水を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 水が循環していることを理解している。	生物と周囲の環境について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 生物と周囲の環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と周囲の環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	生物と周囲の環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 生物と周囲の環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

月	単元名	時数	評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
9	6. 月と太陽	8	月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。	月の形の見え方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 月の形の見え方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
10	7. 水よう液の性質	15	水溶液の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。	水溶液の性質や働きについて、観察、実験などを行い、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 水溶液の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
11	8. 土地のつくりと変化	13	土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 土地のつくりと変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 地層は、流れる水の働きによってできることを理解している。 地層は、火山の噴火によってできることを理解している。 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。	土地のつくりと変化について問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、土地のつくりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、土地の仕方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
12	9. てこのはたらき	11	てこの規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。	てこの規則性について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 てこの規則性について、観察、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

月	単元名	時数	評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
1 2	10. 私たちの生活と電気	11	電気は、つくりだすことができることを理解している。 電気は、蓄えることができることを理解している。 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。 電気の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。	電気の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 電気の性質や働きについて、観察、実験などを行い、電気の量と働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	発電についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
3	11. かけがえのない地球環境	7	生物と地球環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。	生物と地球環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と地球環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	生物と地球環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 生物と地球環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。